

この検査で15点以上を潜在的な不登校児と呼んでいる。学級にどの位の割合で存在しているかを見ると次のようである。

表2 学級の中の潜在的な不登校児

学級	人数	潜在的な不登校児
4年A組	38人	26人(68.4%)
4年B組	39人	14人(35.9%)
4年C組	39人	17人(43.6%)
学年	116人	57人(49.1%)

H2年7月実施

(福島市立A小学校4年生)

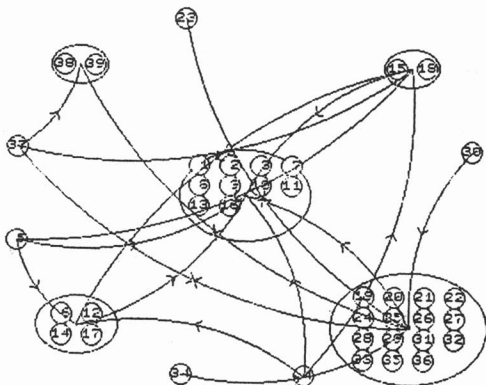
このように、どのクラスにも潜在的な不登校児がいることを把握することができる。

しかし、これらが全て不登校に結びつくわけではない。むしろ、生き生きと学校生活を送っている者もあり、チェックリストの結果だけで判断することは望ましくないが、教師の観察と一致する点も多い。

3学級の中から4年C組を選択し、ソシオメトリックテストを実施し、児童の人間関係について詳しく見ることにした。集団間の選択関係については次のようである。

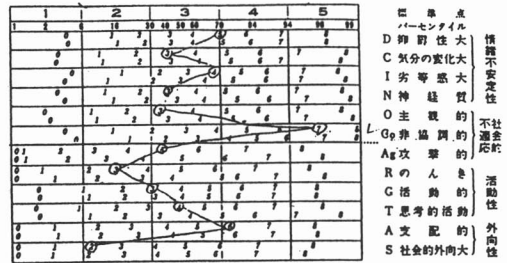
表3 異集団間の選択関係

4年C組 生徒数 39名(18/21) 基準[グループ]



また、Y-G性格検査では、情緒不安定型、非活動的、劣等感大等の個人の問題点を見出すことができた。

表4 Y-G性格検査プロフィール(No.4男子)



※ 性格、AC型。かなり不満が多く人を信用できない。支配的だが他人との交際を好まない引きこもりタイプである。

これらの検査結果から、4年C組の中で個別指導を要する児童13名を選択した。

表5 個別的指導援助を要する児童

児童No.	予知段階チェックリスト	ソシオ(下位集団)	Y-G性格検査	選択の観点
4	6点	0	AC	孤立児, 被排斥14
5	17点	0	E'	周辺児, 被排斥6
17	20点	3	A'	予知20, 被排斥6
23	11点	0	C	周辺児
26	19点	2	AE	予知19, 情緒不安定
27	20点	2	A'	予知20
30	19点	0	C'	孤立児, 予知19
33	25点	2	E'	予知25, 情緒不安定
34	13点	0	AC	孤立児
36	22点	2	E'	予知22, 情緒不安定
37	17点	0	C'	周辺児
38	23点	4	E'	予知23, 情緒不安定
39	20点	4	C	予知20

* 予知段階チェックリストは、15点以上が潜在的な不登校児としている。